



スクールライフ

令和6年2月5日
内灘中学校長 小村 隆典
生徒指導部



タテの想像力 ヨコの想像力

校長 小村 隆典

2／1（木）、3年生は私立入試、2年生は立志式、1年生は職業人に学ぶ会とそれぞれの取組がありました。立志式での2年生は儀式に相応しい立派な態度でした。特に立志式の代表生徒は凛々しく、素晴らしい主張であったと聞いています。2年生の立志作文には「医師になりたい」等、具体的な職業をイメージする人や、「人の役に立ちたい。社会の役に立ちたい。」という生き方について書く人、将来に向けての様々な考えを見ることができ、とても頼もしく思います。



ニュース解説で有名な池上彰さんは著書「タテの想像力とヨコの想像力」の中で、「**未来の自分を自由に思い描き、未来から現代を振り返る視点**」のことを「タテの想像力」と定義しています。何か事を成し遂げた人で未来の自分を思い描いていない人はいないとも語っております。今、**3年生は受験勉強の正念場**です。公立入試まであと1ヶ月、健闘を祈っています。1・2年生も遠くの未来と近くの未来を思い描き、現在の行動に反映してほしいと思っています。2年生の立志式と1年生の「職業人に学ぶ会」は何れも「未来について考える」きっかけになります。**本校では今後も進路学習に力を入れ、一人でも多くの生徒の心に火をつけたいと思います。**

では「ヨコの想像力」とはどんな力でしょうか。池上彰さんは「**身近な人から海外の人まで、自分以外の他者の気持ちを想像する力**」と定義しています。別の言い方をすれば、「**他を思いやる力**」となるでしょうか。**自分も他者も幸せになるには、この力が必須です。**今、能登半島地震で被災した方々に思いを寄せ、日本全国からボランティアとして来られる方々もいます。海外からの義援金も集まっています。「僕も募金しました。」と私に教えてくれた生徒もいます。生徒の優しい心に嬉しくなりました。また、内灘中学校には、普段の学校生活の中で「思いやり」を発揮してくれている生徒たちはたくさんいます。「他者の気持ちを想像する力」は当然、社会に出て仕事をする場面でも必要な力です。お客さんの気持ちを想像したり、同僚の気持ちを考えたりすることは大切なことでしょう。内灘中の生徒の皆さんは、きっと素敵な大人になります。



【2月の生活目標「一日一善を心がけよう」】

今月は「一日一善」を意識することが目標です。全生徒が1日に1つ善い行いをすることを意識することで、学校全体が良くなっていきます。生徒一人一人が周囲に気を配り、自分自身の行動を振り返ってもらいたいと考えています。先生方も生徒の善い行いやがんばりを認める・褒める姿勢で皆さんと接するように心がけています。この生活目標に合わせて生活委員会は、他の生徒の善い行いを掲示する取組を行います。

一日一善

【各学年の行事】

< 1年生 職業人に学ぶ会 >

1年生は2月1日に『職業人に学ぶ会』が行われました。保育士や看護師、弁護士、理容師、ツアーコンダクターなど様々な職業の方が自身の経験を交えながら、中学生が今しておくこと、働くにあたって大切にするべきことなどのお話をいただきました。生徒はメモを取りながら真剣に話を聞き、講師の方に質問し、自身の将来について考えました。将来の自分の進路選択や職業選択を考えるよい機会となりました。



< 2年生 立志式 >

2年生は2月1日内灘中学校体育館で『立志式』が行われました。生徒は立派な態度で式に臨み、14歳としての責任の重さ、自覚が感じられた式でした。第1部の中では立志を迎える生徒を代表して、4名の生徒が決意を表明しました。また第2部記念講演では、元プロサッカー選手ツエーゲン金沢フロントスタッフ廣井友信氏を講師として、「ワクワクを探そう！～自分の未来を自分で掴む～」を演題にご講演いただきました。立志を迎えた今、「将来のこと」について、また、「14歳という責任の重さ」について、ご家庭でも話し合っていたいただきたいと思います。



< 3年生 私立高校一般入試 >

3年生は私立入試がありました。緊張の中、各会場に向かう3年生たち。ほとんどの生徒にとって、初めて迎える入学試験でした。強い緊張が伝わる中、「がんばって！」と励まされ、各会場に入っていました。この後、多くの生徒が公立高校一般入試などに挑みます。新型コロナウイルスや風邪、インフルエンザなどに負けず最後までコツコツと努力を続け、自分の希望する進路を手にしてくれることを願っています。

